

全庁展開を進める フリーアドレスへの取組

令和 5 年 5 月現在

プロジェクトの詳細

改修完了	: 令和5年5月
対象人員	: 産業労働部 112人
対象面積	: 750㎡
業務委託	: なし



執務席

職員が個々の自席を持たず、働く席を自由に選択できるフリーアドレス制・ワゴンレスの運用を実践し、ペーパーレス化に繋がっている。



執務席 給茶・コピースペースの集約、部署間に配置していた収納庫を撤去したオープンオフィス、動線を整理することで見通しやすく明るい執務空間へ。



役職席(課長・課長補佐席)

1人当たり、W1200D1400のデスクを課毎に集約配置。役職者同士の連携がしやすく、場所を移動せず打ち合わせや報告などがしやすい。



オカムラHPでも
ご覧いただけます

福井県庁では、若手職員のアイデアを活かした働き方改革”Life Style Shift”(ライフスタイル・シフト)を展開し、職員みんなで「変化にあわせ」「行動を変えていく」ためのアクションを進めています。その活動のひとつである「ペーパーレス」を進める手段として、職員が個々の自席を持たず、働く席を自由に選択できるオフィススタイルであるフリーアドレスを導入、全庁展開を目指しています。

産業労働部では、課毎でのグループアドレスとし、チーム連携を強化しながらも、自席を固定化しない運用としています。改装前より文書整理や削減を進めることで、文書量を大幅に削減、従来の袖机を廃止したワゴンレスとし、書棚を整理することで見通しの良いオープンオフィスを実現しました。また全庁で進めている電子決裁・文書管理システムの導入や卓上ディスプレイの配置することで、ペーパーレス化を推進し、紙に捉われない働き方を実践しています。

また、運用面の工夫として、各課より選出した若手メンバーによるチームを立ち上げ、プロジェクトを進めてきました。身近なメンバーがサポート、伝達することで、各職員は自分事として捉えることができました。日々、業務を進める上での運用の工夫、ICTツールの活用推進など、執務環境を最大限に活用するためのフォローアップ体制が構築されており、継続的にフリーアドレス運用の最適化を進め、業務の効率化に繋がっています。



一般職席

キャスター付き可動テーブルを採用し、フレキシブルなレイアウト変更が可能。一人当たりW1200D600机上面を使用し、ワゴンレスの運用を実践。



モバイルロッカー・収納庫

自席のワゴンを廃止し、モバイルロッカーに個人書類やPCを収納。投函口を設け、配布物は個別に配布する。上段は共有資料を収納。



モバイルバック

個人書類や文房具を収納するモバイルバックを配布。終業時にはモバイルロッカーに収納し、始業時に持ち出しテーブル下のフックに掛ける運用。



卓上ディスプレイ

各席に配置することで、文字を拡大し見やすくしたり、2画面利用が可能となり、業務効率化・ペーパーレス化に繋げる。



退出時間カード

就業時間などを表示するカード表示。残業予定などを表示することで、業務負荷などを周囲が把握しやすく連携に繋がる。



集中スペース

個人の集中作業、WEB会議などに活用するワークブースを配置。庁内ポータルでの予約制とし、WEB会議の運用面に配慮し、リング状の照明を配置。



ミーティングスペース

居室入口付近に配置し、来庁者対応も可能なスペース。予約なしの運用とし、可動式パネルを移動することで、複数名での打合せも可能。



ミーティングブース

吸音効果のあるパネルで周囲の視線を遮り、籠り感のある打合せスペース。ソファを配置することでカジュアルな雰囲気を演出し、複数名での利用が可能。



立ち会議

執務室内に配置し、場所を移動することなく瞬時に集話し打合せすることが可能。